

調査の目的

近年はテクノロジーの著しい発達により、我々の社会生活 企業もその形を変えつつあります。そして今回のコロナウイルスにより全世界はコロナ後という新しいフェーズに入ることになります。新しいフェーズでは新しい機器やサービスが台頭してくるものと思われまます。本レポートではコロナ後有望な機器 サービスをピックアップし、グローバルにヒアリングを行い 大胆な予測を立ててみたいと思います。各企業の方々のビジネスチャンスの拡大に寄与することができれば幸いです。

I 調査対象先

調査対象国（各国関連政府機関にヒアリング）

ドイツ、イギリス、フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、オランダ、ベルギー、スウェーデン、デンマーク

II 調査対象カテゴリー（各国共通）

- テレワーク関連（ソフト、機器、その他（保険、スペース））
- 無人店舗
- 電子書籍
- ロボット関連サービス（医療関連のみ）
- 環境対応車（電気自動車、水素自動車）
- 遠隔ビジネス（医療、学習）
- E C
- 顔認証
- A I アドバイザー
- A I ヘルスケア
- スマート農業
- 情報銀行
- ドローン関連ビジネス
- コロナ対応機器（センサー蛇口、殺菌ロボット等）家庭用・オフィス用

III 調査項目

- 1 製品 サービス別世界市場動向
- 2 製品 サービス別国別市場動向 メーカー動向
- 3 製品 サービス別国別市場 メーカー今後の動向

IV 調査のポイント

- 今後、有望と思われる 14 品目以上の製品、サービスの世界的動向を調査
- 国別の市場規模、メーカー動向等の明確化
- 今後の有望性を徹底分析